

平成28年度 いでは文化記念館運営協議会 会議概要

○日 時 平成28年12月14日（水）10時00分～11時15分

○場 所 いでは文化記念館 2階研修室

○出席委員（順不同）

島津 慈道、粕谷 典史、後藤 赴司、藤田 昌信

○市側出席者

羽黒庁舎 産業課観光商工室：伊藤 義明室長、日向専門員

○指定管理者側出席者

羽黒町観光協会：佐藤 茂事務局長、斎 安奈学芸員

○次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 協議

1) 平成28年度事業実施状況について

2) 平成29年度事業計画（案）について

3) その他

4 閉 会

○公開・非公開の別

公開

【会議の概要】

1 開 会

2 会長挨拶（島津 慈道）

3 協 議

（1）平成28年度事業実施状況について

◆内容（報告：羽黒町観光協会）

- ・平成28年度いでは文化記念館事業実績
- ・平成28年度いでは文化記念館 入場 人数・売上

◆質問意見等

〔委員〕

今年は正善院黄金堂の御開帳が好評で多数のお客さんが来山し、賑わいがありよかった。

〔委員〕

御開帳の参拝客の客層は地元はもちろんであるが東京方面からの人数が多かった。東京での於竹大日如来信仰の篤さが伺えた。また、名古屋・大阪・広島からのお客様も多く、その中の多くの方々はインターネットを閲覧して拝観に来られたそう。インターネットの影響は大きい。

〔委員〕

古文書解説講座、委員の後藤さんが講師の古文書解説・歴史講座も好評であるが、この講座で使用したテキストと書き下し文をプリントして講座ごとに売店で販売してはいかがか。この資料のテキストである「戸川安章コレクション（いでは文化記念館所蔵・出羽三山修験関係古文書）」については問い合わせも多くあり、参加できない方々のためにもぜひ販売してほしい。随時発行し、まとまったら1冊の本にしても販売可能では。

〔委員〕

門前町手向を歩く「羽黒山歴史探訪」は忙しくてなかなか参加できない。手向地区地域活動センターでも各種講座を頻繁に開催しているが参加できずにいる。

（2）平成29年度事業計画（案）について

◆内容（報告：事務局）

- ・平成29年度いでは文化記念館企画展示（案）
- ・平成29年度いでは文化記念館事業（案）

◆質問意見等

〔委員〕

企画展「奇奇怪怪！出羽三山展」記念講演会講師の候補について、畑中章宏先生はどのような先生か。

〔事務局〕

民俗学者で、出羽三山に関わる論文も近年発表されている。

〔委員〕

とてもよい企画だと思う。講師に小松和彦先生もよいのでは。

[委員]

(企画展関連イベント) クイズラリーというのは。

[事務局]

今年の「於竹大日如来展」でも行ったが展示品を題材にしたクイズ用紙を配布し、答えて応募していただくという企画。正解者には抽選で賞品を贈呈するもので大変好評を博したので来年度も開催したい。

[委員]

記念講演会「於竹大日如来と不思議なガラ紡」について、愛知県から講師をお招きするようだが、トヨタと絹織物機械のつながり、製作当時最先端の技術で鶴岡で制作されたものである貴重な機械でもあることからこのガラ紡をめぐる様々な関連性を探してほしい。

[委員]

12月17日から山形県立博物館で日本遺産認定記念企画展「出羽三山」を開催するようだが、日本遺産の事業についてこちら鶴岡市で実施される事業の内容と現時点の実施状況は。

[観光商工室長]

今年度は10月に行われた出羽三山シンフォニー、11月出羽三山シンポジウムを開催した。今年度中に看板整備、バスラッピングによる周知広報活動等を行っていく予定。

[委員]

日本遺産としての出羽三山を案内するガイドの育成も必要ではないか。
地元の間人、宿坊の主人等は依頼されても忙しくてなかなか案内できない。

[観光商工室長]

例えば羽黒山周辺を案内する羽黒町観光協会の「いでは観光ガイドの会」という組織があるので今までのガイド内容にプラスしていただき日本遺産を面として説明できるような養成費を日本遺産事業の予算はつけることが可能である。

[委員]

常設展示室の滝の劇場コーナーはどうするのか。時代に合っていないコーナーであるが。

[観光商工室長]

日本遺産事業等で日本遺産を紹介するブースにすることを考えている。
(その他で詳しく説明)

3) その他

◆内容 (報告:事務局)

・いでは文化記念館への寄贈品について

- ①羽黒山正善院よりガラ紡の寄贈があった。於竹大日堂から発見され、手回しガラ紡としては日本で4台しか現存せず、しかも綿ではなく絹を使用した貴重な機械として今後いでは文化記念館の展示資料、また、鶴岡市としても今後の絹織物研究の史料として活用していきたい。
- ②画家・三浦恒祺氏より羽黒地域の茅葺き民家を描いた淡彩画2点(8号)の寄贈があり現在手続き中である。

・常設展示室滝の劇場リニューアルについて

日本遺産事業または他の事業で日本遺産を紹介する展示ブースにリニューアルする事を考えており、現在平成29年度の実施を要望している。

・いでは文化記念館休館日の検討について

平成29年1月10日より観光商工室職員3名が羽黒庁舎へ異動し、職員数が減少するにあたり、冬期間の火曜日の完全休館、展示替え期間の休館日を検討が必要なのでは。

◆質問意見等

[委員]

滝の劇場のリニューアルについて、日本遺産紹介のブースの内容の提案として、三山すべて登山できる人は限られているので月山等に登れない方も理解できるような、いでは文化記念館で三山を旅するイメージができるパネル展示、映像展示等の空間にぜひ改修してほしい。

[委員]

冬期間の休館については観光客が減少する期間でもあるので鶴岡市・観光協会で検討して運営してほしい。

[委員]

前は11月に入ると観光客の車も見事ほとんどなかったが、近年は二人連れの個人客等以前より冬期の来山者も増えている。以前よりお客さんの入れ込みも大きく変化している。いでは文化記念館は冬場は玄関前の積雪も多いため入りにくいイメージがある。冬場も来館していただくための工夫（玄関前に入館したくなるような表示看板等設置など）が必要ではないか。

[観光商工室長]

いただいたご意見を参考に今後の運営について観光協会と共に検討していきたい。